

株主のみなさまへ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

いまだ終結しないウクライナとロシアによる争い、一向に止まる気配が見えない物価の高騰、加えて、米国及び中国を中心とした関税合戦による経済の混沌と、非常に不安定で未来に暗い影を落としかねない昨今の世界情勢の中、当社メディシノバは本年も定時株主総会の時期を迎えました。

2024年度は、ゴールに向けて着実に歩みを進めることができたプロジェクトもあり、一方では立ち止まることを決定したプロジェクトもあり、そのような一年でありました。

MN-166（イブジラスト）におきましては、予定通りALS（筋萎縮性側索硬化症）を対象としたフェーズ2/3臨床試験の中間解析を実施いたしました。ここでの解析結果を踏まえ、試験プロトコルを変更することなく、継続実施することとなりました。同じくALSでは、進行中のフェーズ2/3臨床試験には参加資格を有さない進行が進んでいるALS患者さんなども参加可能な拡大アクセスプロトコル臨床試験がNIH（米国国立衛生研究所）からの資金提供を受けてスタートすることができました。

一方、米国の政府系機関BARDAと共同で進めてきた塩素ガス暴露による急性肺障害に対する医学的対策としての開発プロジェクトでは、現時点では薬効を証明するための試験に用いる確立されたモデル動物がなく、一旦立ち止まる判断をいたしました。今後、再開できる機会が巡ってくることを期待したいと思っております。

MN-001（タイペルカスト）におきましては、2022年にスタートした2型糖尿病及び高中性脂肪血症を伴うNAFLD患者を対象とした臨床試験が順調に進捗しています。現在2つの施設で患者さんの登録が進められています。

2025年度も取り組むべきことが沢山あります。一つ一つ、確実に、次の一步へつなげてまいりたいと思っております。株主・投資家の皆様に、また当社メディシノバを応援して下さる方々に、良いお知らせができるよう引き続き尽力してまいります。変わらぬご指導・ご鞭撻をお願いできれば幸いです。

何卒よろしく御礼申し上げます。

2025年5月吉日

メディシノバ・インク
代表取締役社長兼CEO
岩城 裕一